

校訓「正直 勤勉 愛護 進取」 学校だより 特別号

(前期学校評価アンケートについて・学校評議員会および学校関係者評価委員会の報告)

～ぬくもりのある学校創り～

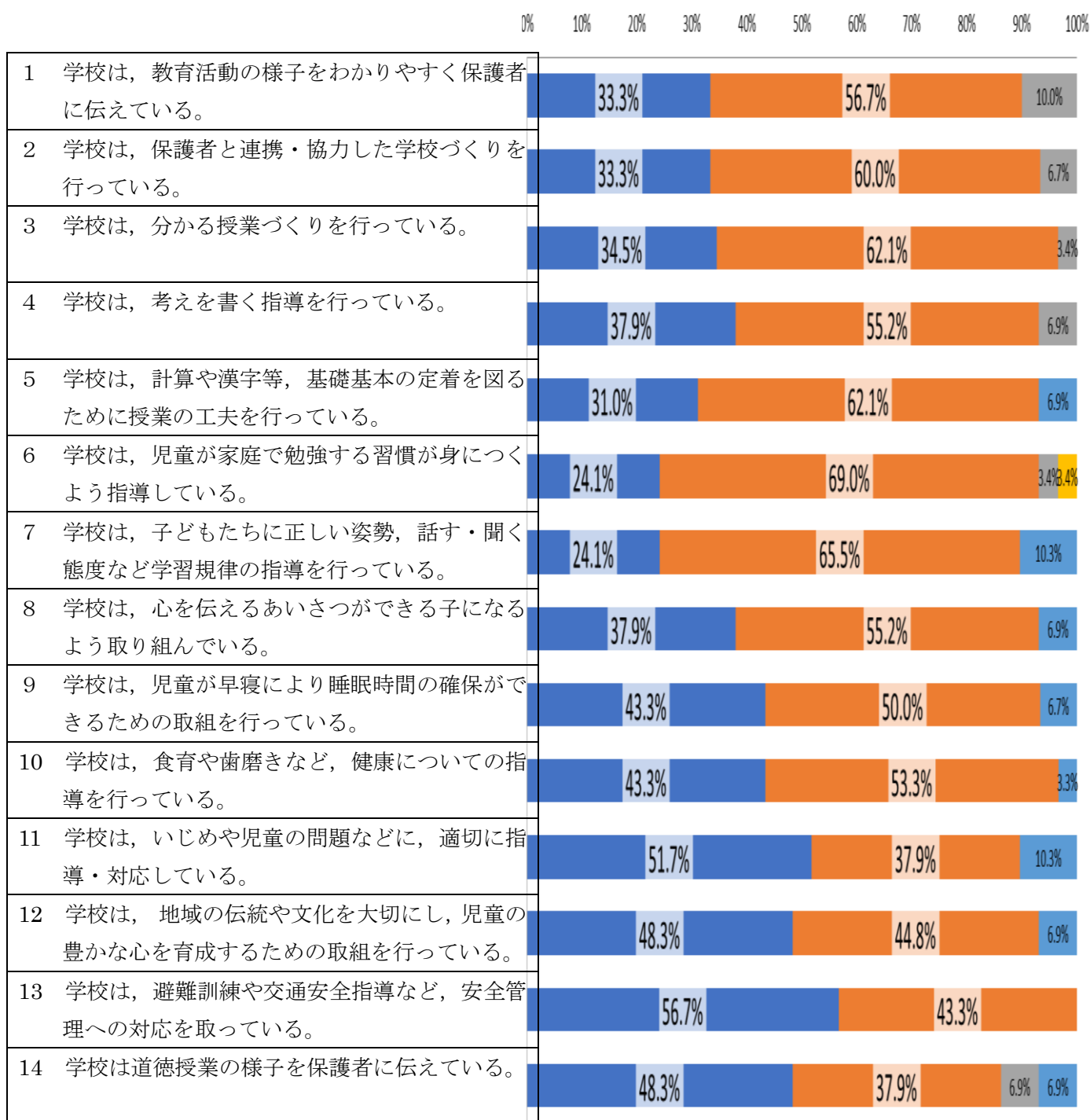
令和2年10月 1日

笠野小学校長 香林 直晴

今回の特別号では、1学期末に実施した学校教育活動評価アンケートの結果と9月末に開催されました学校評議員会および学校関係者評価委員会で話し合われたことをまとめました。そして、そこから見えてきた成果と課題を保護者の皆様と共有し、今後も連携を図りながら健やかな児童の育成を目指していきたいと思えます。



保護者による学校教育活動についてのアンケート結果

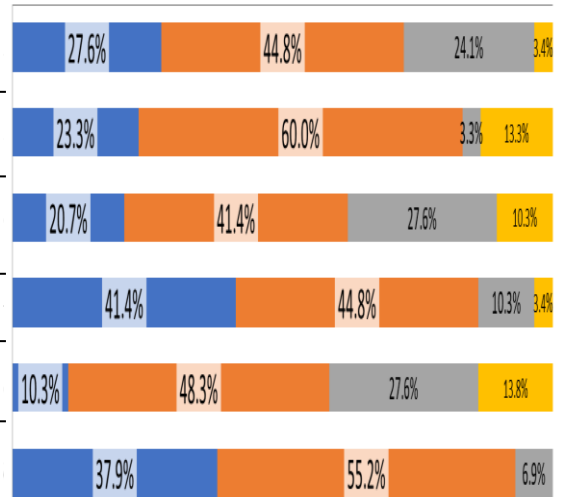


■Aできている ■Bだいたいできている ■Cあまりできていない ■Dできていない ■E分からない

家庭での生活調査結果

- ① お子さんは、家庭学習に取り組んでいる。
- ② お子さんは、早寝により、十分な睡眠時間を確保している。
- ③ お子さんは、親子読書,週末読書など家庭での読書に取り組んでいる。
- ④ お子さんは、家庭や地域でのあいさつを行っている。
- ⑤ お子さんは、約束を決めて、メディアと付きあっている。
- ⑥ お子さんは、安全に登校し、不審者や事故から身を守るよう、気を付けている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■Aできている

■Bだいたいできている

■Cあまりできていない

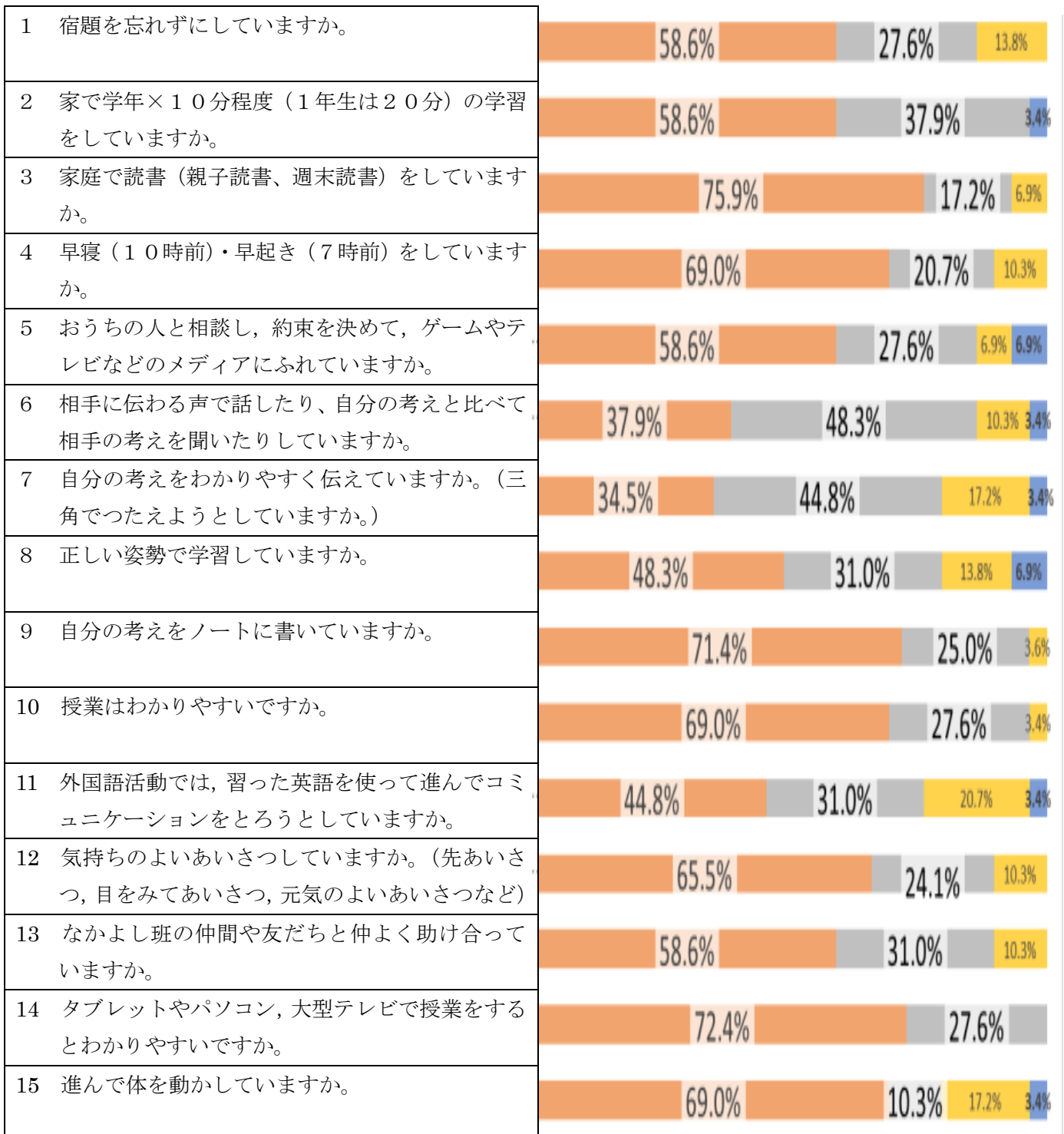
■Dできていない

■E分からない

○自由記述

R2 前期児童アンケート

■ Aできている ■ Bだいたいできている ■ Cあまりできていない ■ Dできていない



どの項目においてもA+Bの肯定的評価が概ね80%を超える高いものでした。

その中でも最も評価の高かった項目は、14「タブレットやパソコン、大型テレビで授業をするとわかりやすいですか。」で、A+Bが100%と高い評価でした。また、9「自分の考えをノートに書いていきますか。」

10「授業はわかりやすいですか。」では、A+Bが90パーセントを超える高いものでした。こうした結果は、ICT活用の効果を児童も実感していることの現れです。また、「書くこと」については、今年度、教職員が、学校研究を通じ、児童に重点的に身につけようとして実践している項目でもあり、研究の取組や成果が児童の意識や姿に表れていることを示しています。

最も評価の低かった項目は、11「外国語活動では、習った英語を使って進んでコミュニケーションをとろうとしていますか。」で、A+Bの肯定的評価が75.8%でした。今年度から、小学校で新学習指導要領が全面実施となり、外国語科が新設され、一層の指導の充実が求められています。本校では、複式でALTと担任が協力して授業を進めています。さらに言語活動の充実を図り、コミュニケーション力の育成に努めていきます。



9月24日(木)に学校評議員会・学校関係者評価委員会を開催しました。学校からは、これまでの学校の取組や児童の様子と前ページのアンケート結果や学力調査等の結果の説明をさせていただきました。

そして、評議員および関係者の皆様と以下のような意見の交換をいたしました。

① 学校の教育活動及び学校運営の状況について

- ・学校に不満はない。子供の教育は、家庭に責任があると考えている。できないことがあっても、それはその子の個性。先生たちは、よく頑張っている。先生方のご指導に、感謝している。
- ・今年度は参観できてはいないが、複式の授業、大変良かった。話し合いの仕方がしっかりしている。そして、学力調査の成績もよい。ほかの学校に劣るところがない。先生方は、よく頑張っている。HPも毎日更新されている。
- ・小規模校の良さを生かして、きめ細やかに指導している。
- ・コロナで行事がなくなったが、稲刈りができ、地域と密着した体験活動ができてよかった。
- ・挨拶もしっかりしている。よい子ばかりだ。
- ・リコーダー講習会での子供たちの反応が、素直で子供らしかった。
- ・今年度は、コロナの影響で、今のところ、体力テストは実施できていない。
- ・最近の教員は子供を叱れないと聞くが、悪いことは悪い、間違ったことは間違っていると教えてほしい。学校で好き放題するようなことがあってはならない。
- ・声を張って教員が指導するということはある。思わず教員から大きな声が出ると、子供は委縮する。基本的には諭すように、子供達には理解させている。この学校の子は、1回指導すると言うことを聞いてくれる。この学校の子供は大丈夫だ。

② 「笠野の森」の活用について

- ・自然ふれあいタイムを設定しているが、雨の日が多く、今年度は、まだ、実施できていない。
- ・笠野の森は、自然が豊かで、野鳥や動物の姿もよく見かける。都会ではできない体験ができる。ぜひ活用してほしい。

② 「でんでこ太鼓」について

- ・学校で太鼓の指導を20年行ってきた。笠野の子供しかできないことをということで、「でんでこ太鼓」を作った。本当に、笠野の子供しかできない。ぜひ、続けていってほしい。笠野の子が太鼓を発表する場を1年に1回は設けて、継続してほしい。今の1年生だけがまだ体験できていないので、全員が「でんでこ太鼓」を体験できる場をぜひ作ってほしい。

アンケートおよび学校評議員会・学校関係者評価委員会では貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回いただいたご意見は職員で共通理解し、今後の指導・改善にいかしていきます。

